

■事業計画書（一般融資）記入要領（様式3号の1）

事業計画書・記入要領

設備を行う動機・目的及びその効果

物流施設の場合

道路、交通事情、需要構造の変化など外的要因にも触れ、施設の現状と問題点及びその改善策を述べ、今回設備の狙いを明確に示す。効果はできるだけ具体的(計数的)に説明する。

福利厚生施設の場合

施設の現状と問題点、今回設備の必要性・利用見込み、収益面への影響などを説明する。

荷役機械の場合

設備の必要性、設備前と設備後の能力・能率比較、省力効果、収益面のメリットなどを説明する。

車輦の場合

代替増設の別を記入するだけでよい。

計画の概要

物件の種類 土地・建物、機械設備、車輦等の別  
 構造・形式 土地の地目・用途、建物の構造、車輦の種類・形式(初登録年、形状、型式)など  
 面積・数量 土地・建物などの面積 車両の台数

記入例（平成26年度 7月申込分）

総投資内容	投資内訳	金額	発注契約先	支払(予定)	完成(予定)
当該推薦事業年度の4月以降支払分	車両購入資金	35,000 千円	A自動車(株)		26年9月
		千円			
		千円			
		千円			
	合計① (=⑤)	千円			
	資金調達内訳	金額	(予定)時期	留意事項	
	近代化基金融資借入② つなぎ融資(有・ <b>無</b> )	30,000 千円	26年9月	・③④による支払済分を本借入金に振替え出来ない ・つなぎ融資にて支払済で、近代化基金融資借入金②により、つなぎ融資を一括返済する場合は推薦融資対象	
	他行借入金③	千円			
	自己資金④	5,000 千円	26年4月 支払済		
	合計⑤ (=①) (=②+③+④)	35,000 千円			